

支所運営委員会がイベント

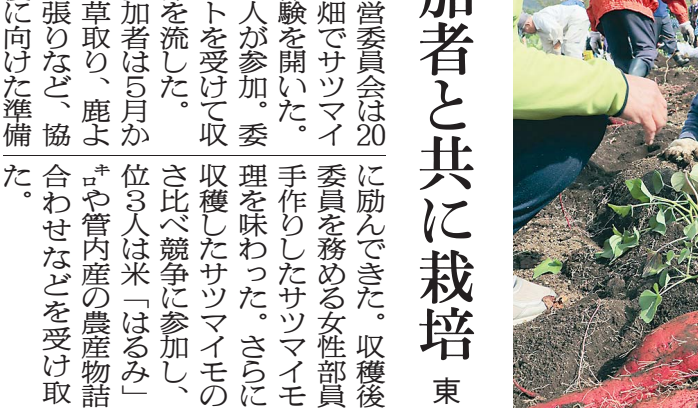
大根 落花生とサツマ収穫



落花生の脱莢作業に励む参加者

落花生とサツマイモを収穫した。参加者は、委員から収穫方法や品種の特徴などを教わりながら、一株ずつ収穫し、落花生の脱莢（だつきょう）も体験。作業後は、土産用の花ふかしたサツマイモを試食しながら委員らと交流を深めた。

南矢名の遠藤正則さんは「農産物の品質が良く、孫と収穫を楽しめたので良かった。また次回も参加したい」と笑顔で話した。



委員の指導でサツマイモを収穫

参加者と共に栽培

東支所運営委員会は20日、寺山の畑でサツマイモの収穫体験を開いた。委員を務める女性部員が手作りのサツマイモ料理を味わった。さらに、収穫したサツマイモの重さ比べ競争に参加し、上位3人は米「はるみ」5kgや管内産の農産物詰め合わせなどを受け取った。



花苗を丁寧に植え付ける部員

青年部が花の苗を植え付け。JA本所花壇彩る。青年部は16日、本所の玄関前にある花壇に、部員が栽培した花苗を植え付けた。同部が取り組む「花いっぱい運動」の一環。部員18人が、連携して定植作業に励んだ。部員は、ビオラやストックなど冬の寒さに比較



子牛と触れ合う子どもたち

秦野産求め1400人

JAはだの年金旅行を受け入れ。その後、徐々に連携を強化し、年金旅行の受け入れにつながった。同店は出荷者と連携し、参加者が来店する午後3時に合わせて多くの農産物を確保した。11日には、高井戸支店管内の組合員約130人が来店。秦野産農産物を並べた店外の特設「コーナー」や店内の落花生売り場などを中心にぎわった。

「はるみ」が人気 生産増やそう

市内では「キヌヒカリ」や「コシヒカリ」などさまざまな品種の米が栽培されている。中でも近年、特に人気が高まっているのが「はるみ」だ。「はるみ」は甘味が強く、食味が良いことに加え、穂田で稲の生育状況などを調査。今年7月には、4カ所き、TAC（地域農業の担い手）に調査し、農家に有る情報を提供していく。



農家に追肥のタイミングを解説するTACら

果から割り出した出穂期の情報を農家に伝え、追肥の時期などを指導した。農家は「はるみ」の品種も対象として収穫した。収穫した米は、昨年から実施。JAは来シーズに以降も、TACを中心に「はるみ」の品種も対象として収穫した。収穫した米は、昨年から実施。JAは来シーズに以降も、TACを中心に「はるみ」の品種も対象として収穫した。

新米まつりでPR

「はるみ」は毎年、米の出荷がピークを迎える時期に「新米まつり」を開き、秦野産米の消費拡大に力をいれている。今年6月8日（水）は、落花生とサツマイモの収穫体験に合わせた「新米まつり」を開催し、3日間合計約2トンを販売した。

「はるみ」は毎年、米の出荷がピークを迎える時期に「新米まつり」を開き、秦野産米の消費拡大に力をいれている。今年6月8日（水）は、落花生とサツマイモの収穫体験に合わせた「新米まつり」を開催し、3日間合計約2トンを販売した。

秦野産 出荷シーズン迎える

米

秦野産の米が出荷シーズンを迎えた。今年も農家が丹精して良質な米を生産。JAはサポート体制を強化し、農家を積極的にバックアップしている。市内では、米作りを体験する観光農業イベントの開催や、小学生在育った米の地域福祉への活用など、さまざまな取り組みが始まった。

観光農業や福祉へ活用も



稲刈りに励むオーナー家族

オーナーが稲刈り

市内では、米作りを体験する観光農業イベントが開かれていく。はだの都市農業支援センターが実施する「田んぼオーナー」もその一つだ。観光農業振興に向けて同センターが取り組む「オーナー制度」の一環で、23、24の両日、地域の独り

「はるみ」を刈り取った。10月27日に開く収穫祭で、収穫した米を玄米にし、管理する（例）大地の小泉達とオーナーらに渡す他、餅つきなどを行う予定だ。

「はるみ」を刈り取った。10月27日に開く収穫祭で、収穫した米を玄米にし、管理する（例）大地の小泉達とオーナーらに渡す他、餅つきなどを行う予定だ。

児童の米高齢者へ



東地区社会福祉協議会は、暮らしの高齢者142人に弁当の配食サービスを行う

弁当に使用した米は、東小の5年生が「あすまの里」稲づくり体験教室で栽培し、脱穀まで米作りの一連の作業を体験する。今後、配食サービスは11月と来年1月にも行う予定だ。



児童の思いが込められた手紙と弁当を手渡す民生委員

検査員が品質確認

9月28日からは、大根支所と品質検査がスタートした。検査員を務めるJA営給食などに供給している。



営農課職員と農家が米の品質を確認

記録的な猛暑や9月の荒天などから品質への影響が懸念され、一部で高温障害が出たものの、2等以上の米が多く出荷された。集荷した米は、ほぼすべて「名水はだの米」として販売する他、県内の学校給食などに供給している。



産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。産品を使ったイベントを開催し、地産地消を推進する。

発見 顔見知り

パン通し地産地消



並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

並木町で「丹沢ベーカリー」を経営する関野竜也さん。大学卒業後、遺跡調査や家具職人などを経験し、29歳の時にパン職人を目指すようになった。創業2月に現在の店をオープンした。

原料にこだわりの ちやべりんスクールケーキ作り

JAはだの14日、食松で洋菓子店「パティスリー クラベリーナ」を運営する吉田伊織店長を講師に、サツマイモのケーキ作りを行った。児童らは、地産地消の意識を高め、食育の一環として取り組んだ。



吉田店長と調理を進める児童

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

材料には、児童が5月の同スクールで植え付けたサツマイモを使用。サツマイモは、素材の味を楽しむように、糖度を上げてから焼く。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。児童らは、吉田店長が用意したパン生地を上手に生地を塗る。

告知板

J A健康ふれあい館
期間限定オープン
J Aはだのは、旧西直売センターをJ A健康ふれあい館として、11月30日までの予定でオープンしました。
館内では、(株)フジ医療器が取り扱っている、凝りや血行の改善に効果がある特殊な磁気を発生するシートクッションを無料でお試しできます。また、インスタラクターによる健康などをテーマにした講義も行っていますので、ぜひお気軽にご来館ください。
●開館時間 第①部・午前9時～午後1時 第②部・午後2時～同4時
●定休日 土・日曜日、祝日
●お問い合わせは経済課まで。81-7717
婚活イベントを開催
J Aはだのは、結婚相談事業の一環として「ウインターパーティー」を開催します。今回は女性(50歳未満)の方を募集します。会話を楽しみながら、ぴったりのお相手を探してください。新たな出会いの第一歩として、ぜひご参加ください。
●日時 12月2日(日) 1時30分～同4時
●場所 本町支所2階

多目的ホール
●募集人数 15人程度
(定員になり次第締め切り)
●参加費 1,000円
●申し込み期限 11月16日(金)まで
お申し込み、お問い合わせは組織教育課まで。81-7714
じばさんず「周年祭」開催
じばさんずは11月10、11の両日、開店から16年目を記念し、店舗敷地内で周年祭を開きます。時間は午前9時から午後3時30分。産地間提携先フアーマーズマーケットや出荷者が模擬店を出店し、農産物や加工品などを販売します。さらに2,000円以上お買い上げの来店者を対象にした大抽選会などを実施する他、アンパンマンのふわふわも用意しますので、ぜひご来場ください。
●お問い合わせは、じばさんずまで。81-7707
農業機械レンタル講習会を開催
J Aはだのは、農業機械利用事業の一環で、剪定(せんてい)チップパーを貸し出しています。機械での事故防止と利用者の安全確保のため、利用する際は事前に講習会の受講をお願いしています。

●日時 12月1日(土) 午前9時～
●場所 J Aはだの農業センター
●対象者 J Aはだの組合員
●内容 チップパーの取り扱い方法について
●お問い合わせは、農機センターまで。81-8394
加工品相談会を開催
J Aはだのは、今年度初めて人間ドックの集団受診日を設けました。ぜひご利用ください。
●日時 2019年2月20日(水) 午前7時に本所集合(バス送迎)
●場所 J A健康管理センター

●日時 11月16日(金) 午前8時30分～同10時30分
●対象 組合員とその家族 ※先着15人(うち、胃カメラ先着9人)
●申し込み方法 10月29日(月) 午前9時から、各支所・支店の窓口で受け付け開始
●お問い合わせは各支所・支店まで。
●日程 11月16日(金) 午前8時30分～同10時30分
●審査 11月16日(金) 午後1時から
●一般公開 11月17日(土)～18日(日)
●表彰式 11月18日(日) 午前11時30分から
●即売 11月18日(日) 午後1時から
●出品
●出品物は、市内の農業者が自ら生産した農産物または加工品で、同一生産者から1品目につき1点とします。ただし、品種が異なればこの限りではありません。
●11月16日(金) 午前

8時30分までに最寄りの支所へ、または午前10時30分までに本所農業団地センターに直接搬入してください。
●出品物には、必ず出品票を付けてください。
●優秀賞受賞の名額最上位者(6人)には、高品質な農産物であるため、P Rしてもうため、直売所への出荷などの際に貼るシールをお渡しします。
●集合場所 県立戸川公園大倉側の特設テント(堀山下1290-1)
●申し込み方法 氏名、参加人数を電話またはFAXではだの都市農業支援センターまで。81-7800、FAX 81-78004
●お問い合わせは市農産課まで。82-9626
丹沢秦野農園ハイイク
堀山下と堀西の農園を散策しながら、サトイモやサツマイモ、キャベツなど約10品目の農産物を

8時30分までに最寄りの支所へ、または午前10時30分までに本所農業団地センターに直接搬入してください。
●出品物には、必ず出品票を付けてください。
●優秀賞受賞の名額最上位者(6人)には、高品質な農産物であるため、P Rしてもうため、直売所への出荷などの際に貼るシールをお渡しします。
●集合場所 県立戸川公園大倉側の特設テント(堀山下1290-1)
●申し込み方法 氏名、参加人数を電話またはFAXではだの都市農業支援センターまで。81-7800、FAX 81-78004
●お問い合わせは市農産課まで。82-9626
丹沢秦野農園ハイイク
堀山下と堀西の農園を散策しながら、サトイモやサツマイモ、キャベツなど約10品目の農産物を

8時30分までに最寄りの支所へ、または午前10時30分までに本所農業団地センターに直接搬入してください。
●出品物には、必ず出品票を付けてください。
●優秀賞受賞の名額最上位者(6人)には、高品質な農産物であるため、P Rしてもうため、直売所への出荷などの際に貼るシールをお渡しします。
●集合場所 県立戸川公園大倉側の特設テント(堀山下1290-1)
●申し込み方法 氏名、参加人数を電話またはFAXではだの都市農業支援センターまで。81-7800、FAX 81-78004
●お問い合わせは市農産課まで。82-9626
丹沢秦野農園ハイイク
堀山下と堀西の農園を散策しながら、サトイモやサツマイモ、キャベツなど約10品目の農産物を

JAバンク神奈川
“おいしさ発見”県内農産物
お届けキャンペーン
実施期間 2018年11月1日(木)～12月28日(金)
今年もやります、JAからどーんとお届け! 冬のボーナスチャンス!
定期貯金に30万円お預けいただくと抽選で
神奈川県内の農産物
総額 3,000万円 当たる!
(3,000円相当×10,000本)
年金相談会
これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
日時・場所 11月1日(木)西支所
11月8日(木)本町支所
※時間は午前9時～午後4時まで どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
事前予約をされると便利です
・年金受給手続きを相談される方は
信用課 TEL.81-7716 当日は ☎0120-954-092

じばさんず NEWS
【11月のイベント】
☆「菊花展」1日(木)～5日(月)
菊花会が店外のテントで菊の展覧会を開きます。
☆「ユースマルシェ」3日(土)
青年部員がサツマイモやトマトなどを対面販売します。
☆「お楽しみ詰め放題」4日(日)
農産物の詰め放題です。内容は当日のお楽しみ!
☆「周年祭」10日(土)、11日(日)
全国産地間提携先 J Aの特産品が勢ぞろい。生産者手作りの加工品なども販売します。
☆「お歳暮フェア」14日(水)～12月24日(月)
大人気の乾麺セットをお買い得価格で販売します。
☆「農業まつり」17日(土)、18日(日)
神奈川県内の農産物直売所の商品を販売します。生産者手作りの加工品やじばカツなどの模擬店が並びます。
☆「国産豚の加工品」24日(土) この日限りの特売品をご用意。試食すれば国産品のおいしさを実感できますよ。
☆「乾物商品集合」24日(土)、25日(日)
乾物をはじめとした珍味の数々をご用意。セット購入がお買い得ですよ。
☆「はちみつ試食販売」24日(土)、25日(日)
生産者が蜂蜜を試食販売します。
☆「試食の日」毎週火曜日
旬の野菜を使ったお手軽料理をご紹介します。
☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10%引き。
☆「肉の日」毎週木曜日
店頭価格から5%引き。
☆「W肉の日」29日(木)
今月は29日が木曜日なので、通常の「肉の日」より、さらに3%引きとなります。
☆「たまごの日」毎週月、金曜日
店頭価格から10%引き。※一部商品除く。
◎11月13日(火)は定休日です。

今月の生産者
今泉の 栗原 信行さん
ダイコンやホウレンソウなど年間5品目
長年の経験を生かして野菜作りに励んでいます。一つの品目にじっくり手が掛けられるように、品目数を絞って栽培しています。低農薬で味に自信がありますので、ぜひ手に取ってみてください。

運動会で交流深める
みんなで体動かし健康増進



玉入れに挑む部員

女性部は3日、秦野市カルチャーパーク陸上競技場で第38回女性部運動会を開いた。運動を通じて部員相互の親睦を深めることが目的。今年は次世代との交流も図るつと子どもを持つ親にも声を掛け、6組13人の親子が参加。総勢300人が力を合わせて競技に挑んだ。



パレードに参加して女性部をPR

結果は次の通り。
▽優勝Ⅱ上支部(39部)Ⅱ大根・北支部(27部)▽準優勝Ⅱ南支部(27部)
(35点)▽3位(2支部)と書かれたフラカードを掲げ、部員は足並みそろえて本町小学校を出発した。「秦野たはこ音頭」の音楽に合わせて、約1・6キロのコースを走りながら歩いた。
熊澤部長は「祭りは多くの市民が集まる場所。部員が参加する良い機会なので今後も参加していきたい」と話した。
パレードには女性部の他、別の団体として多数の組合員が参加。市内の幼稚園児や団体など、総勢1080人以上が集結して会場を盛り上げた。



健口体操を披露(上)

上支部では、部員が腹話術人形を使って健口体操を行った。昼食後には、保健福祉センターの保健師からウォーキングの重要性を学習。歩くことが高血圧や糖尿病の予防につながるこの他、歩く時の姿勢や呼吸法などを学んだ。
本町支部では、同部員の別趣味グループの協力で民謡や踊りを披露。参加者と一緒に歌や踊りを楽しんだ。また、スポーツ輪投げ「クロリテイ」とカラオケも行い、有意義な時間を提供した。

女性部は18日、姉妹提携を結んでいる栃木県のJ Aはが野女性会との交流会を藤沢市で開いた。交流会は毎年、互いの県で交互に実施している。今年度は神奈川県で開催し、同会の会員ら39人と同部の部員ら27人が参加した。
参加者は、「家の光」2018年5月号に掲載された「押し花入りフワフワボールペン」を作成。互いに色合いや花の配置を相談し、作り方を



親睦を深めた参加者ら

確認しながら作業を通し、後の光協会の職員に交流を深めた。その後のエンディングノートに必要事項を説明した。講義に耳を傾けた。
交流会後は、新江ノ島水族館をグループで散策。共に行動しながら、シャワーの感想を共有した他、互いの活動内容などを情報交換して盛り上がった。

11月の女性部行事予定表			
1日(木)	7:30	上支部「支部旅行」	
6日(火)	13:30	本部役員会	
7日(水)	9:30	ふるさと料理教室(東幼稚園)	
//	9:30	南支所「お茶飲み交流会」	
9日(金)	10:00	ままメートクラブ	
12日(月)	9:30	支部役員会(大根)	
//	13:30	支部役員会(本町・上)	
13日(火)	9:30	ふるさと料理教室(ひろはたこども園)	
//	9:30	支部役員会(東・西)	
//	13:30	支部役員会(南・北)	
15日(木)	13:30	県女性組織協議会女性部長・事務局会議	
20日(火)	8:30	第3回歩こう会	
23日(金)	8:30	上小まつり(豚汁作り)	
26日(月)	9:30	ふるさと料理教室(しぶさわこども園)	
//	13:00	第71回神奈川県農協大会	
28日(水)	8:00	本町支部「支部旅行」	

「菖蒲上庭生活班」
班長 竹内 京子さん
私たちが菖蒲上庭生活班は、現在8人で活動しています。主に、共同購入や女性部の球技大会、運動会などの活動に積極的に参加しています。
以前は、1世帯の加入が複数いたので班の人数も多くいました。母親の世代では、積み立てをして食事会や旅行などに行っていました。高年齢化に伴い班での行事はなくなってしまう少し残念です。
女性部役員を経験し、エコノミー商品の良さを実感しています。共同購入を利用したり、女性部活動に参加したりして、それを伝えていければ幸いです。

南支部
教室
南支部は12日、南支所でエークク料理教室を開いた。調理器具の性能を確認し、エークク料理の調理方法を学びました。調理のレパートリーを増やすことが目的。鍋メーカーのエークク料理の担当者が、鍋やフライパンなど4種類の調理器具を使って料理を実演。器具を紹介しながら、お好み焼きやおこわ、煮物、蒸し料理など7品を手際よく調理した。部員は、加熱時間や焼き具合を確認しながら鍋の性能を確かめた。